

令和5年度 大学院総合社会情報研究科 研究指導教員・研究指導アドバイザー リスト

日本大学教育憲章に基づき制定された「教学に関する基本方針」では、大学院教育の充実、発展を目指し、「学位プログラムとしての大学院教育の確立」が謳われています。骨子としては、(1)社会のニーズと合致する大学院教育の推進(2)学部教育と大学院教育の連携(3)大学院生に対する修学上の支援 となっています。

本研究科では、教育研究の質向上のために、大学院生各人の研究指導教員以外でも他専攻の研究指導教員及び通信教育部教員(下記リストに記載のある全教員)からも研究指導を受けられる体制を整えました。この体制を本研究科では、「研究指導アドバイザー制度」と称します。この制度により大学院生は、様々な研究領域(分野)の教員から直接、指導、アドバイス及び相談等を受けることが可能となります。

博士 前期課程	博士 後期課程	教授 (主たる研究領域(分野))	准教授 (主たる研究領域(分野))	助教 (主たる研究領域(分野))
国際情報 専攻	M○ D○	M○ D○ 松重 充浩 (東アジア近現代史)	M○ D○ 瀧川 修吾 (政治学, 日本史)	
		M○ D○ 川又 祐 (財政・公共経済)	M○ 大八木 時広 (国際政治学, 欧州統合研究)	
		M○ D○ 加藤 孝治 (経営学, 流通論)	井手 康仁 (国際政治学, 観光学)	
		M○ D○ 神井 弘之 (行政学, 農政学)	根本 晋一 (民法)	
		M○ D○ 陸 亦群 (経済政策, 応用経済学)		
		M○ 前野 高章 (国際経済学, 経済政策論)		
		M○ 日吉 秀松 (国際関係学, 現代中国政治史)		
		M○ 雨宮 史卓 (広告・ブランド論, マーケティング戦略)		
文化情報 専攻	M○ D○	M○ D○ 島田 めぐみ (日本語教育, 言語テスト)	M○ D○ 秋草俊一郎 (比較文学・翻訳研究)	鈴木 雅裕 (日本上代文学)
		M○ D○ 保坂 敏子 (日本語教育, 教育工学)	M○ 田嶋 倫雄 (英語教育学, ESP)	
		M○ D○ 清水 享 (東アジア史, 東アジア文化社会研究)	猪野 恵也 (英文学)	
		M○ 川嶋 正士 (英文学)	小澤 賢司 (英文学)	
		M○ 野口 恵子 (日本文学)		
		M○ 山崎真紀子 (日本近現代文学) 鍋本 由徳 (歴史学)		
人間科学 専攻	M○ D○	M○ D○ 田中堅一郎 (社会心理学, 産業・組織心理学)	M○ 中澤 瞳 (哲学, 倫理学)	
		M○ D○ 泉 龍太郎 (健康科学, 環境生理学)	M○ 橋口 泰一 (スポーツ心理学)	
		M○ 古賀 徹 (教育学)	M○ D○ 岡山 敬二 (哲学, 倫理学)	
		M○ D○ 柴山 英樹 (教育学)	M○ 時田 学 (教育心理学)	
		M○ 和田 万紀 (社会心理学)	M○ 黒田 友紀 (学校教育学)	
		M○ 上野 広治 (コーチング学)		
		M○ 森長 正樹 (スポーツ運動学)		
		M○ 秦 光賢 (スポーツ医学)		
				23名
研究指導教員(大学院担当教員)			無印: 研究指導アドバイザー	計
M○: 前期課程○合教員 D○: 後期課程○合教員				
31名			6名	37名

【留意事項】 夏期・冬期・春期休暇等の期間を活用して、各指導教員の研究室において実施する面接(対面)授業やゼミナールを受講する際にこの制度を積極的に活用することをお勧めします。しかし、それ以外の期間でも、面接(対面)に限ることなくメール等でも連絡、質問、相談等は随時受付しますので、指導教員または教務課(gssc.jimu@nihon-u.ac.jp)までご連絡ください。特に面接(対面)が比較的困難な社会人学生、地方在住(海外在住含む)学生等においては、メール等の利用もお勧めします。指導教員または教務課(gssc.jimu@nihon-u.ac.jp)までご連絡ください。また、各人の「研究指導教員以外の教員」または「研究指導アドバイザー」への連絡、質問及び相談の際に面接(対面)を特に希望する場合は、指導教員または教務課(gssc.jimu@nihon-u.ac.jp)を通して予約をし、確実に面接(対面)が実施できるように計画してください。